

SUBARU

広島管理番号【25】

# 環境活動レポート

2010年度 第3版

(運用期間2010年4月～2011年3月)

～地域社会との共生を目指して～



広島スバル株式会社

発行日 2011年 5月25日

改定日 2011年11月24日

## 【 目 次 】

	ページ
1. 組織の概要	1
2. EA21推進組織図	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標と実績	4～6
5. 環境活動計画	7
6. 環境活動の取り組み結果と評価・ 2010年度の取り組み内容・ 代表者による全体評価と見直し	8
7. 環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟等	9
8. 拠点一覧	10

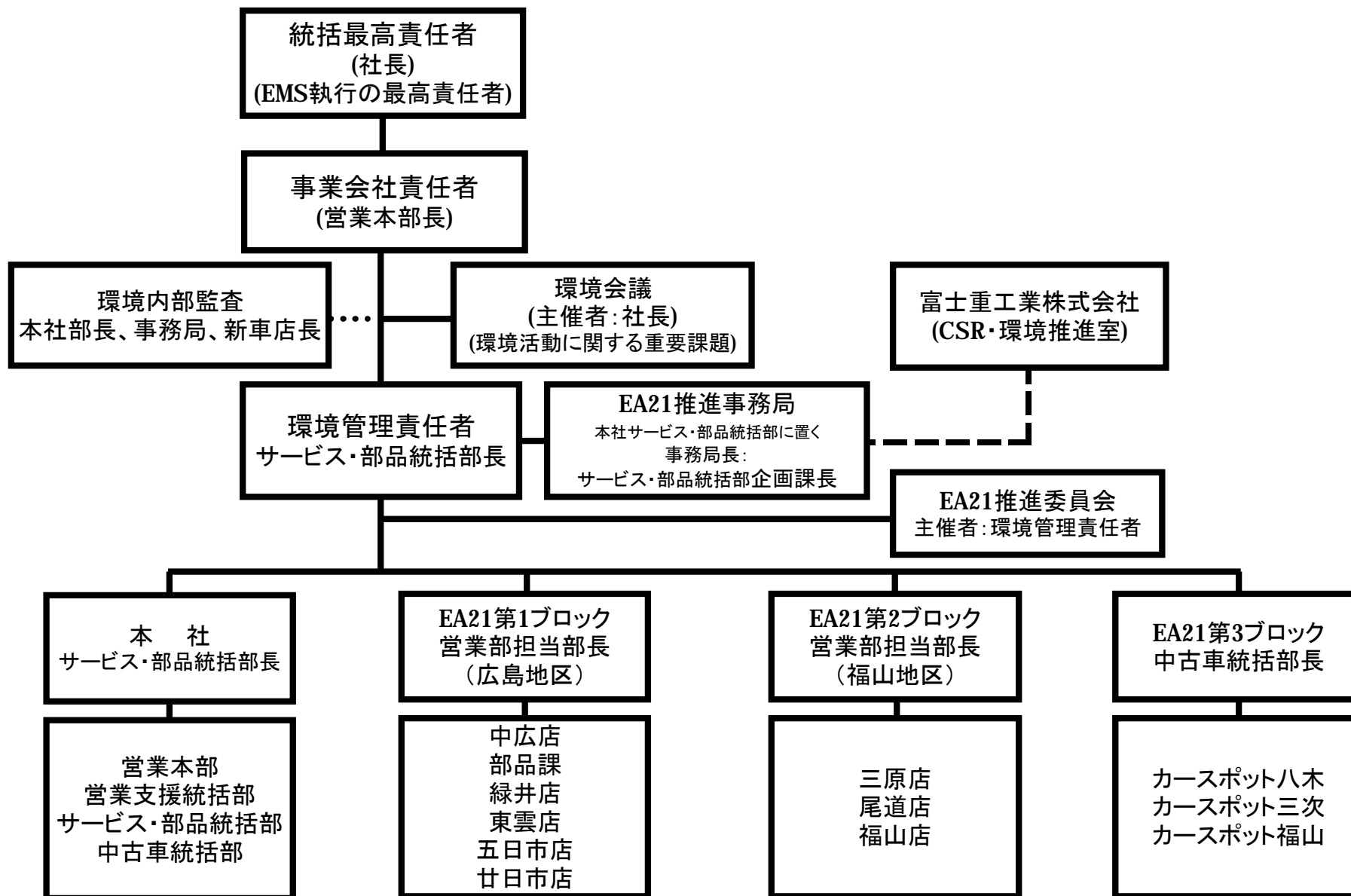
## 【1.組織の概要】

- (1) 事業所名  
広島スバル株式会社  
代表取締役 山本 本山
- (2) 本社所在地  
〒733-0012 広島市西区中広町1-3-17  
関連部門 本社以外の販売及びサービスに係わる店(拠点)  
別途「拠点一覧表」(EMS-HRS003)参照
- (3) 環境管理責任者及び担当者連絡先  
事業会社責任者 営業本部長 中澤 秀方  
環境管理責任者 サービス・部品統括部長 垣内 実  
環境管理事務局 サービス・部品統括部企画課長 藤井 彰  
連絡先 TEL 082-291-4355 FAX 082-291-6555
- (4) 主たる事業の内容  
スバル車の販売並びに付随する関連業務  
1. 新車販売 2. 中古車の販売 3. 車検・定期点検・一般修理・板金塗装  
4. 自動車の部品・用品等の関連商品の販売 5. 自動車リース  
6. 自動車保険代理業務等
- (5) 事業の規模  
年間売上高 84.12億円/年 (2010年度)  
年間販売台数 新車 3,804台 中古車 2,236台 (2010年度)  
従業員数 237人 (2010年4月1日現在)
- (6) 事業年度 4月～3月

## 【認証・登録の対象組織・活動】

- (1) 登録組織名 広島スバル株式会社
- (2) 関連事業所 別途「拠点一覧表」(EMS-HRS003)参照
- (3) 活動 前記(4)の主たる事業の内容に準ずる。

## 【2.EA21推進組織図】



### 【3.環境方針】

## 環 境 方 針

### 《基本方針》

広島スバル株式会社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を認識し、自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務などの事業活動に伴う環境影響をできるだけ少なくするために、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

### 《行動指針》

1. 適用される環境関連法規制や当社が約束したことを守ります。
2. 環境目標を定めその達成に向けて活動すると共に定期的に見直し、環境パフォーマンスの継続的改善に努めます。また当社が販売・提供するサービスの環境負荷の削減を行います。
3. 具体的には、以下の事項に取り組みます。
  - ① 省エネルギーの推進(電力使用量、自動車燃料使用量を抑える)
  - ② 省資源(水使用量、紙使用量を抑える「森林保護等目的」)
  - ③ 廃棄物総排出量の削減とリサイクル
  - ④ 事業所周辺の清掃活動など、地域の環境改善への貢献
  - ⑤ 「グリーン購入」を積極的に推進
  - ⑥ エコカー販売、車両点検整備の促進

この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

平成23年11月20日

広島スバル株式会社

常務取締役

長谷川謙一

## 【4.環境目標とその実績】

### (1)現状(2009年)の環境負荷

表-1 現状の環境負荷

項目	単位	2009年(基準年度)	kg-CO <sub>2</sub>	売上1億円当たり	
電気使用量	kwh	1,201,599	809,878	8,943	
燃料	ガソリン	L	214,087	497,037	5,488
	灯油	L	7,807	19,455	215
	軽油	L	26,111	68,524	757
	LPG	m <sup>3</sup>	114	705	8
	都市ガス	m <sup>3</sup>	6,402	13,498	149
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	—	1,409,097	15,560	
グリーン購入 品目数	品数	1			
販売関係 環境対策車販売台数	台	—			
サービス関係 セーフティチェック台数	台	3,957			
水使用量	m <sup>3</sup>	10,904		120.41	
産業廃棄物	t	54.32		0.60	

※全社合計 90.56億円

### (2)環境目標とその実績

表-2 環境目標とその実績

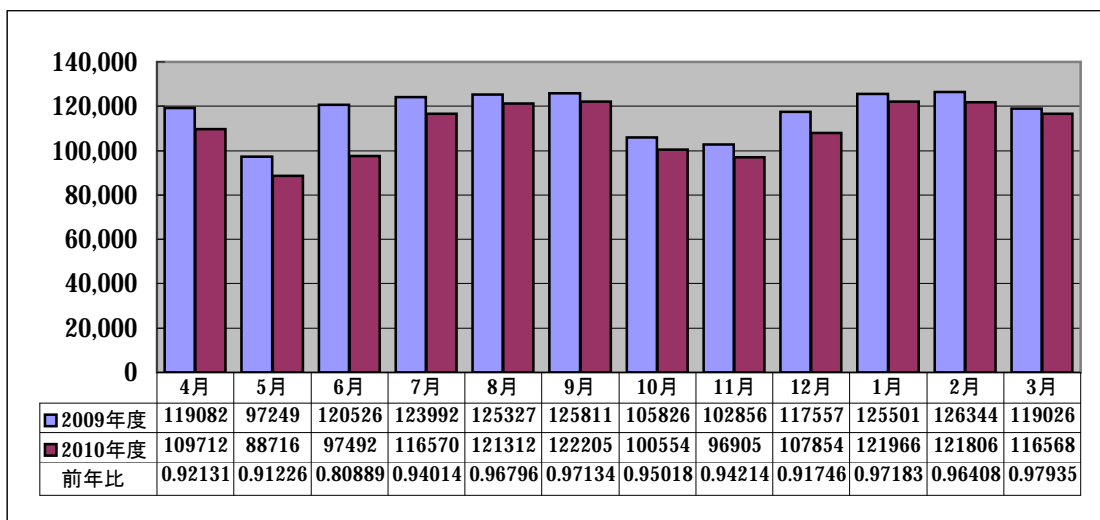
項目	単位	2010年度	2010運用期間		2011年度	2012年度	
環境目標(削減率(2009年度比))		2.0%	(2010年度)		5.0%	7.0%	
		目標	実績	達成率	目標	目標	
電気使用量	kwh	1,177,567	1,211,071	97.2%	1,141,519	1,117,487	
	kg-CO <sub>2</sub> /億円	8,764	9,041	96.9%	8,496	8,317	
燃料	ガソリン	L	209,805	195,413	107.4%	203,383	199,101
	灯油	L	7,651	8,174	93.6%	7,417	7,261
	軽油	L	25,589	25,903	98.8%	24,805	24,283
	LPG	m <sup>3</sup>	112	102	109.8%	108	106
	都市ガス	m <sup>3</sup>	6,274	8,748	71.7%	6,082	5,954
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,380,915	1,321,660	104.5%	1,338,642	1,310,460	
	kg-CO <sub>2</sub> /億円	15,249	15,712	97.1%	14,782	14,471	
グリーン購入 品目数	品数	3	9	300.0%	10	15	
販売関係 環境対策車販売台数	台	1,493	1,948	130.5%	1,867	2,240	
サービス関係 セーフティチェック台数	台	6,861	5,990	87.3%	6,998	7,135	
環境目標(削減率(2009年度比))		2.0%			5.0%	7.0%	
水使用量	m <sup>3</sup>	10,686	10,734	99.6%	10,359	10,141	
	m <sup>3</sup> /億円	118.0	127.6	92.5%	114.4	112.0	
環境目標(削減率(2009年度比))		2.0%			3.0%	3.0%	
産業廃棄物(発生量)	t	283.61	249.38	113.7%	280.72	280.72	
(資源化・熱回収量)		230.38	206.93	111.3%	228.03	228.03	
(最終処分量)		53.23	42.45	125.4%	52.69	52.69	
(最終処分量/億円)		t/億円	0.59	0.50	117.6%	0.58	0.58

※全社合計 84.12億円

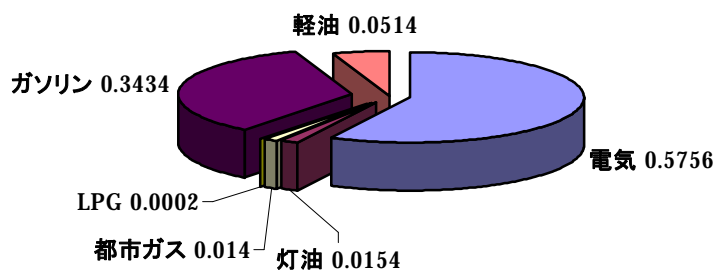
備考) ・2010年実績は年間実績です。(グリーン購入、環境対策車、セーフティチェックは下期から台数把握を行います)  
 ・達成率の評価は総量及び原単位指標(売り上げ1億円当り環境負荷)で行います。  
 ・環境目標(削減率)は全拠点統一としています。  
 ・購入電力の二酸化炭素排出係数は0.628です。

## 二酸化炭素排出量、購入電力量、産業廃棄物排出量と最終処分量の月別前年比

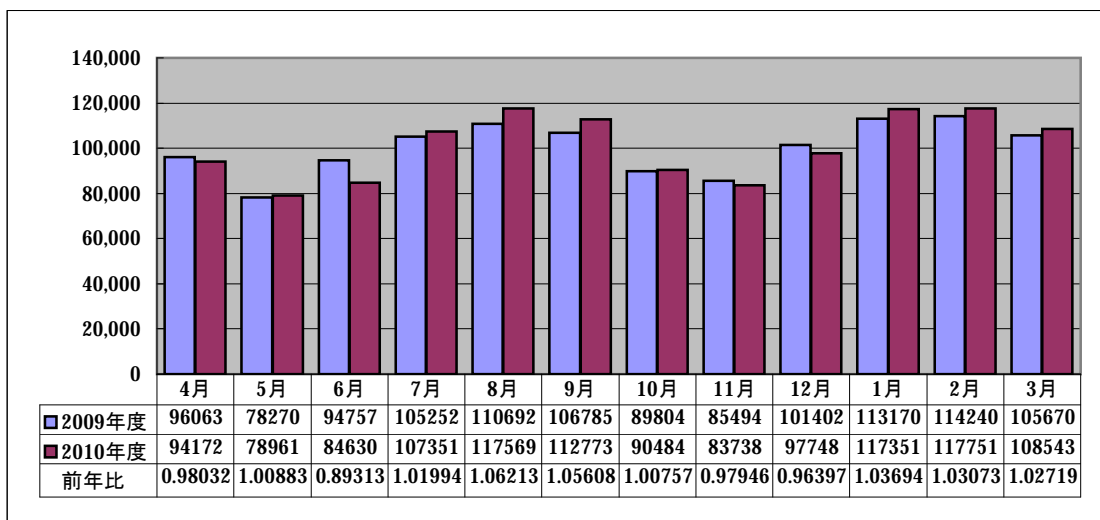
### 二酸化炭素排出量(単位:kg-CO<sub>2</sub>)



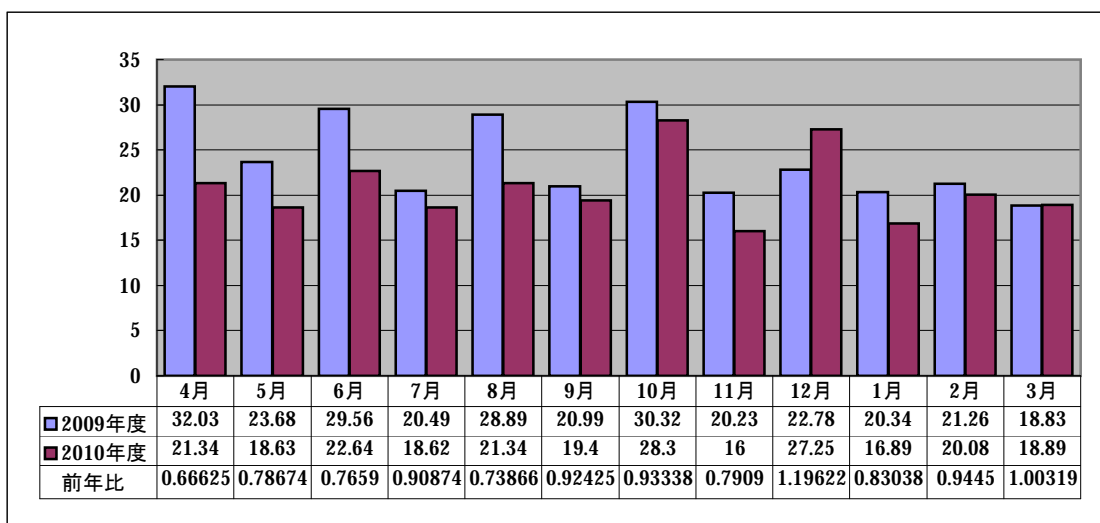
### 【参考】二酸化炭素排出割合



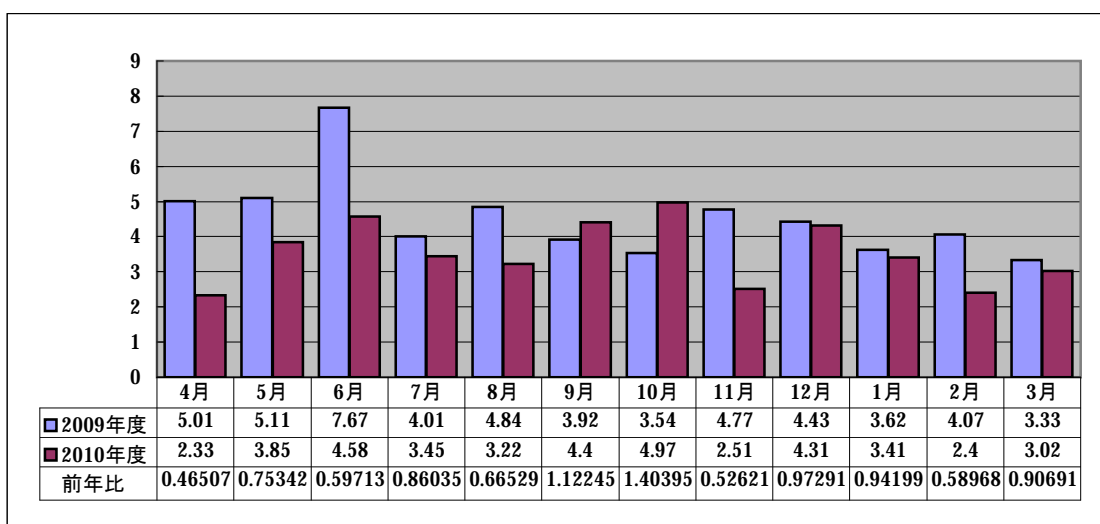
### 購入電力(単位:kWh)



### 産業廃棄物 発生量(単位:t)



### 産業廃棄物 最終処分量(単位:t)



# 【5.EA21活動における環境活動計画】

点線(-----▶):計画、実線(——▶):実績

項目 No	今年度の環境活動計画 (2010年度末の達成したい目標値)	実行施策・手段 (目標を達成するために、何を、どの様にやるか記述)	実施主務者 (誰が)	日程(いつまでに)		
				2010年度~2012年度 (当該年度の計画と実績を記入)		
				2010年	2011年	2012年
1	<p>本求業務の見直し 商談時間最短化と経費の削減</p> <p>正確な作業推進と日割り入庫の推進、残業の削減</p> <p>従業員のレベルアップ グリーン購入の基本原則の活用購入</p> <p>環境対策車の販売台数 目標1493台(但し2010年度は環境対策車の具体的販売台数を把握)</p> <p>【スバル販売車種の内、環境対策車は全グレードの約40%、従って販売目標は2010年度目標の約40%とした】</p> <p>セーフティチェック実施台数 目標6861台</p> <p>【セーフティチェックは2010年度目標をベースとする】</p> <p>エコタイヤ販売比率10%</p>	<p>営業時間内に商談を済ます。ショールームの営業時間厳守。 WEBトレーニングによる商談力向上</p> <p>フロントによる予約管理。 OJTによるメカニック技術力の向上。</p> <p>購入品もエコ商品を積極購入。 グリーン購入の品目を毎年増加させる。</p> <p>販売、提供するサービスによる環境負荷低減。 ユーザー指導管理化(環境改善指導)環境対策車販売促進</p> <p>【但し2010年度はスバルで扱う環境対策車の具体的販売台数を把握しその結果により来年度以降の販売目標を再確認する】</p> <p>お客様感謝ティ等の活用促進(無料点検の有料化)点検入庫促進することにより排気ガスのクリーン化、環境に良い状態にする事が目的。</p> <p>エコタイヤ販売促進(燃費向上目的)</p>	<p>営業支援統括部担当部長、 環境管理責任者</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
2	<p>* 電気使用量削減 2%</p> <p>* 数値目標 = 1,177,567kwh</p>	<p>* 照明の適正化、採光場所ごと(お客様、従業員で線引き)</p> <p>* 節電の取組み:スイッチ部に「節電」貼り紙、昼休憩時事務所消灯</p> <p>* ショールームオープン時間短縮、夜間PC主電源OFF等を行う</p> <p>* 冷暖房の室温管理:(暖房:23℃以下、冷房:26℃以上)</p> <p>* 照明の適正化:昼間明るい場所は消灯、屋外看板含む</p> <p>* 省エネタイプ機器への変換:OA機器、照明機器等</p> <p>* ノー残業デーの活用による定時退社:仕事の効率アップ</p>	<p>営業支援統括部担当部長、 環境管理責任者</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
3	<p>* 燃料使用量削減 2%</p> <p>* 数値目標</p> <p>ガソリン=209,805L</p> <p>灯油 =7,651L</p> <p>軽油 =25,589L</p> <p>LPG =112㎡</p> <p>都市ガス=6,274㎡</p>	<p>* 無駄な走行の排除、走行ルートの見直し</p> <p>* 引取、納車の極少化、効率化</p> <p>* エコ運転の推進、エコドライブ5か条の推進</p> <p>* キャリアカーの無駄なアイドリング排除</p> <p>* 代車の削減、効率的な使用(必要最小限の台数)</p>	<p>営業支援統括部担当部長、 環境管理責任者</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
4	<p>CO<sub>2</sub>削減目標 2%</p> <p>* 数値目標=1,380,915Kg-CO<sub>2</sub></p>	<p>* 電気、化石燃料、の削減努力(2,3項目内容)</p>	<p>営業支援統括部担当部長、 環境管理責任者</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
5	<p>* 水道水の使用量削減 2%</p> <p>* 数値目標 = 10,686㎡</p>	<p>* 効率的な洗車の推進</p> <p>* オフィスの節水活動推(節水ラベル貼付)</p> <p>* 洗車時の配慮:洗剤使用の低減、節水ノズルの使用</p>	<p>営業支援統括部担当部長、 環境管理責任者</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
6	<p>* 産業廃棄物の削減 2%</p> <p>* 数値目標 = 53.23t</p> <p>※金属くずの再資源化の取組み</p> <p>* その他紙資源の削減目標 2%</p> <p>* 数値目標 = 3.24t</p>	<p>* 裏紙の使用、ペーパーレス化</p> <p>* マニフェストの完全運用</p> <p>* 排出量削減取組:梱包箱の再利用等</p> <p>* 分別再資源化の強化(金属くず、タイヤ、バッテリーの売却推進)</p> <p>* シュレッダーごみの削減</p> <p>* 販売促進物件の適正購入と効率的利用</p>	<p>サービス・部品統括部 企画課長</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
7	<p>* 順守状況のチェック</p> <p>リサイクルバンパー</p>	<p>* 法規制、社内基準の順守</p> <p>* メーカーによるリサイクルの完全準用</p>	<p>サービス・部品統括部 企画課長</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
8	<p>* 現在取組拠点の活動の定着化。</p> <p>* 現在未取組拠点への活動の理解を深める。</p>	<p>* 地域密着型拠点実現のため地域 社会への環境活動を進める (地域清掃活動の実施拠点を増やす)</p> <p>* 朝の清掃、社内だけでなく社外(歩道や近隣地域)の取り組み</p>	<p>営業支援統括部担当部長、 環境管理責任者</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
9	<p>* 本社及び各拠点の管理者へEA21に関連した環境教育を行い浸透を図る</p> <p>* 内部監査を行える体制作りを行う</p>	<p>* 年間教育計画に基づき教育を実施</p> <p>* 内部環境監査の体制作り(全拠点2年で一度は実施)</p>	<p>環境管理責任者 サービス・部品統括部 企画課長</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		
10	<p>* 設備投資計画</p> <p>コピー機、シュレッダー、電話、テレビ</p> <p>エアコン、ヒーター類</p> <p>(劣化更新次第で予定)</p>	<p>* 固定資産台帳にて管理</p> <p>* 順次エコ対応品に変更(低電力、低燃料タイプ)</p> <p>* 物に応じてリース物件に変更も考慮する</p>	<p>営業支援統括部担当部長、 環境管理責任者</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>		

※2010年度終了時に削減手段を再確認し、必要があれば修正する。 ※修正した箇所は、赤字で記入し判る様にして置く。尚、表記環境活動計画は年度内に達成する事を原則とする。

## 【6.環境活動の取り組み結果と評価・2010年度の取り組み内容・代表者による全体評価と見直し】

### (1) 取組結果

表－4 環境活動の取り組み結果(売上1億円あたり)

項目		2010年度 目標削減率	運用期間中の 目標値	実績	達成率
				2010年度	
C02排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> /億円	2%	15,249	15,712	97.1%
水使用量の削減	m <sup>3</sup> /億円	2%	118.0	127.6	92.5%
産業廃棄物最終処分量	t/億円	2%	0.59	0.50	118.0%

### (2) 評価

#### ① 二酸化炭素

- ・目標値(15,249kg-CO<sub>2</sub>/億円)に対して年間実績は(15,712kg-CO<sub>2</sub>/億円)で、達成率は97.1%であった。猛暑の影響で電気使用量が削減出来なかった事が大きな要因と思われる。ガソリン使用量、LPG使用量の削減努力はあったがトータルの削減は未達に終わった。環境活動の本来業務の見直しによる業務の効率化意識は高まりつつあるが、商談時間の短縮やサービスの予約管理による入庫の平準化、15時ミーティングによる工程管理の取り組み、残業の圧縮等で通常営業時間内で業務終了し電気使用量の更なる削減努力が必要と思われる。  
次年度は削減率向上のため、各部門の業務効率化に向けた環境活動の取り組みを強化する必要がある。

#### ② 水使用量の削減

- ・目標値(118.0m<sup>3</sup>/億円)に対して、年間実績は(127.6m<sup>3</sup>/億円)となり、達成率は92.5%といった結果となった。水道水の使用量の店舗別実績をみると、洗車機の無い店舗が削減率が悪く洗車効率をあげる努力が必要と思われる。  
次年度は洗車グッズの充実化による更なる意識の向上により、大幅な削減努力を行い進捗確認を行う。

#### ③ 産業廃棄物排出量の削減

- ・目標値(0.59t/億円)に対して、年間実績は(0.50t/億円)となり、達成率は118.0%と目標値を上回った。分別回収が進み廃プラや混合廃棄物が減ったことが、最終処分量の減少を図ることが出来た要因であると思われる。業種上、売上げを上げようとすると単純に交換部品が増え、産業廃棄物の量が増える傾向にある中でバランスよく削減出来たと思われる。  
次年度の実績も更なる分別回収の徹底(有償売却推進)や排出量の削減に努めたい。

### (3) その他の取り組み

- ・エネルギー、水資源、産業廃棄物の削減は地球温暖化防止の為、当然の企業努力とし、今後も取り組むと共に本来業務の見直しについて、総合営業活動計画を充実させるため 部門毎の取組を本格化させ更なる効率化を推進する。  
次年度の実績も環境活動計画を新車販売、定期点検入庫、その他当社の事業活動と関連付け、一層本来業務に取り組む体制を構築すると共に、東日本大震災を契機として目標以上の環境への取り組みについて企業努力をする必要がある。

### (4) 代表者による全体評価と見直し

- ・CO<sub>2</sub>と水使用量の削減について課題が残った。これらの課題をよく整理し、具体的な改善の取り組みを行うこと。一方で中四国エリアの最重要課題である「本来業務の見直し」による環境目標と環境活動について一定の成果があった。各拠点の日常業務と本取り組みがリンクすることがとても重要であり、今まで以上に仕組みづくりと意識啓蒙活動、とりわけ全体教育の定期的な実施を推進してほしい。  
また、東日本大震災を契機として、従来にない環境への取り組みや考え方への転換が必要であり、目標設定や活動について次年度の計画に織り込むこと。

**【7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反・訴訟等の有無】**

(1)適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	遵法状況の確認	要求事項
水質汚濁防止法	○	特定施設の届出(自動車洗浄装置の設置等)
下水道法	○	排水施設の設置義務(特定施設の設置届出)
浄化槽法	○	保守点検、清掃及び定期検査
騒音規正法	○	特定施設の設置の届出
振動規正法	○	特定施設の設置の届出
消防法	○	少量危険物貯蔵届出、危険物屋内貯蔵所
廃棄物処理法	○	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約
自動車リサイクル法	○	使用済み自動車の適正処理
化管法(PRTR法)	○	特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録

(2)違反・訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は過去3年間ありません。

(3)内部環境監査

内部環境監査を実施し法令違反が無いように自主チェックをする。

(監査の実施は年1度以上行い、2年で全拠点を行う)

## 【8.拠点一覧(2010年4月1日現在)】

文書番号:EMS-HRS003

事業所名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号	工場	組織区分
					資格	
本社	733-0012	広島市西区中広町1-3-17	082-291-4355	082-291-6555	—	A
福山店／カースポット福山	721-0961	広島県福山市明神町2-18-17	084-941-2155	0849-45-6960	指定	D
尾道店	729-0141	広島県尾道市高須町1263-2	0848-46-2340	0848-47-1099	指定	D
三原店	723-0052	広島県三原市皆実4-3-25	0848-62-6218	0848-64-2173	指定	D
中広店	733-0025	広島市西区小河南町2-8-1	082-232-5171	082-232-5174	指定	D
東雲店	734-0023	広島市南区東雲本町3-5-24	082-284-2265	082-284-2254	指定	D
緑井店	731-0103	広島市安佐南区緑井6-20-10	082-877-1385	082-877-1374	指定	D
五日市店	731-5128	広島市佐伯区五日市中央6-2-48	082-923-5800	082-923-5941	指定	D
廿日市店	738-0034	広島県廿日市市宮内727-3	0829-39-6670	0829-39-4571	認証	D
カースポット八木	731-0101	広島市安佐南区八木2-12-16	082-873-3660	082-873-3627	指定	F
カースポット三次	728-0006	広島県三次市島敷町859-1	0824-65-0655	0824-64-0255	認証	E

注)工場資格で指定は指定整備工場、認証は認証整備工場を示す。

### 組織区分の意味

A = オフィス業務 (事務所業務)

B = オフィス業務 + 自動車販売 (新車・中古車)

C = オフィス業務 + 自動車販売 (中古車)

D = オフィス業務 + 自動車販売 (新車) + 整備業務

E = オフィス業務 + 自動車販売 (新車・中古車) + 整備業務

F = オフィス業務 + 自動車販売 (中古車) + 整備業務

G = オフィス業務 + 自動車販売 (新車) + 整備業務 + 板金塗装

H = オフィス業務 + 整備業務 + 板金塗装